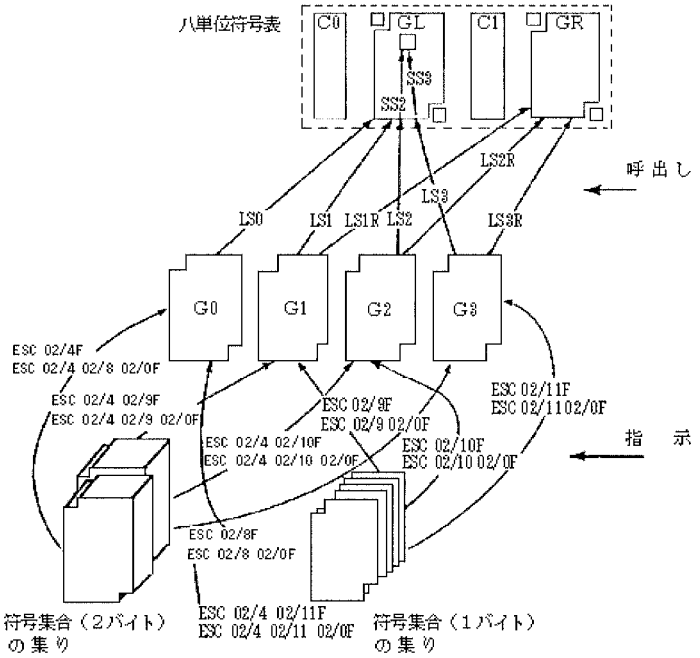
別表第十九号　八単位符号の拡張方法



注１　符号集合の呼出し（符号集合Ｇ０、Ｇ１、Ｇ２及びＧ３を八単位符号表へ呼び出すこと。）制御の内容は、次のとおりとする。

呼出し制御	呼出し制御の符号化表現	制御の内容		
		符号集合	呼出し先	呼出し形態
ＬＳ０	00／15	Ｇ０	ＧＬ	ロッキングシフト
ＬＳ１	00／14	Ｇ１	ＧＬ	ロッキングシフト
ＬＳ２	ＥＳＣ　06／14	Ｇ２	ＧＬ	ロッキングシフト
ＬＳ３	ＥＳＣ　06／15	Ｇ３	ＧＬ	ロッキングシフト
ＬＳ１Ｒ	ＥＳＣ　07／14	Ｇ１	ＧＲ	ロッキングシフト
ＬＳ２Ｒ	ＥＳＣ　07／13	Ｇ２	ＧＲ	ロッキングシフト
ＬＳ３Ｒ	ＥＳＣ　07／12	Ｇ３	ＧＲ	ロッキングシフト
ＳＳ２	01／09	Ｇ２	ＧＬ	シングルシフト
ＳＳ３	01／13	Ｇ３	ＧＬ	シングルシフト

⑴　ＥＳＣは、01／11とする。以下別表において同じ。

⑵　ロッキングシフトは、符号集合を八単位符号表に呼び出し、他のロッキングシフトによる入れ替えが行われるまでは、八単位符号表に定常的にとどめることをいう。

⑶　シングルシフトは、これに続く１個の符号のみを八単位符号表に一時的に呼び出すことをいう。

２　符号集合の指示（符号集合の集まりの中から１つの符号集合をＧ０、Ｇ１、Ｇ２又はＧ３集合として指示すること。）の制御の内容は、次のとおりとする。

指示制御の符号化表現	制御の内容	
	文字符号集合の分類	指示先
ＥＳＣ　02／8　Ｆ ＥＳＣ　02／9　Ｆ ＥＳＣ　02／10　Ｆ ＥＳＣ　02／11　Ｆ	１バイトGセット	Ｇ０ Ｇ１ Ｇ２ Ｇ３
ＥＳＣ　02／4　Ｆ ＥＳＣ　02／4　02／9　Ｆ ＥＳＣ　02／4　02／10　Ｆ ＥＳＣ　02／4　02／11　Ｆ	２バイトGセット	Ｇ０ Ｇ１ Ｇ２ Ｇ３
ＥＳＣ　02／8　02／0　Ｆ ＥＳＣ　02／9　02／0　Ｆ ＥＳＣ　02／10　02／0　Ｆ ＥＳＣ　02／11　02／0　Ｆ	１バイトＤＲＣＳ	Ｇ０ Ｇ１ Ｇ２ Ｇ３
ＥＳＣ　02／4　02／8　02／0　Ｆ ＥＳＣ　02／4　02／9　02／0　Ｆ ＥＳＣ　02／4　02／10　02／0　Ｆ ＥＳＣ　02／4　02／11　02／0　Ｆ	２バイトＤＲＣＳ*	Ｇ０ Ｇ１ Ｇ２ Ｇ３
（備考）　*は、追加機能とする。以下別表において同じ。		

符号集合の分類及びＦ（終端符号）は、次のとおりとする。

符号集合の分類	文字符号集合	終端符号（Ｆ）	摘要
Gセット	漢字系及びＤＪＣＳ	04／2	２バイト符号
	英数	04／10	１バイト符号
	平仮名	03／0	〃
	片仮名	03／1	〃
	モザイクＡ	03／2	〃
	モザイクＢ	03／3	〃
	モザイクＣ	03／4	〃 } ノンスペーシング
	モザイクＤ	03／5	〃 }